

未来を切り開く 2022新春のつどい

あきらめない、続ける、正しいこと掲げる、未来を見据えて

フリースト・ステージの攻防

1月15日、市内コロナ新感染者26人という緊張の中、日本共産党の新春のつどいが開かれました。冒頭、すやま初美愛知選挙区参議院選挙予定候補は、自らの総選挙愛知7区の闘いを振り替わり「つどいをいっぱい開き『中国とのちがいが、自衛隊は共闘の中に入れて、外交対策がよく分かった』と共感の輪が広がった。その一方で、支配勢力の野党共闘と日本共産党への攻撃が猛烈に行われた」と発言。

「日本共産党の加わる政権交代が支配者に脅威を与えたこと、野党が共闘する以外に政権交代は実現できない」と、夏の参議院選挙で必ず勝利すると決意表明しました。



野党と世論で政治が変わった3カ月

岡本守正市会議員は、12月議会を報告し「日本共産党が掲げてきた、18歳までの医療費無料化が2022年度中に入院費無料で実現する。くるくるバスの拡充も電気バスが各地で実施され温暖化対策としても重要になってきている」と語りました。

山口はるみ市会議員は「『困っている人にコロナ救済』との岸田政権公約実現に野党と世論が頑張った結果、碧南市も4回の補正予算で18歳までの10万円一括現金振込、非課税世帯10万円が実現した。『戦争する国づくり』も敵基地攻撃能力、改憲、軍事費2倍化と3点セットで進んでいる。改憲許すな世論で何としても平和憲法と暮らし守る年に」と13歳で学徒動員され遺体かたづけをさせられた西端支部の90歳男性のことも紹介し訴えました。

「訴えに共感！」入党されました

磯貝明彦市民運動部長は、県議会補欠選挙での支援に感謝をのべ「8月31日投票の選挙結果で22%の得票をいただいたことが、9月4日の菅総理辞任につながったと自負している。日本共産党を大きくしてください」と赤旗新聞の購読。日本共産党への入党を呼びかけました。その後参加された方から一人が入党されました。

「初めて参加したが、訴えにとっても共感した。憲法を変えてはならん。自分の体験した戦争を二度と繰り返してはいけない」と話されました。

感染防止に配慮し密を避けた会場に「いっぱい参加者」とすやま初美参議院選挙区予定候補

楽しかった総選挙

来賓として愛知13区市民連合の石川勇吉さんは「総選挙は車イスの方も参加して交差点でのスタンディングなど楽しく手ごたえあった。13区でも自民党落選に貢献できた。5市市民連合には創価学会員も参加されており、幅広い人たちが政策を練り上げた。20項目の市民連合と4野党の公約実現に参議院選挙でもがんばりたい」と語りました。

憲法署名広げよう

「へきなん9条の会」
へきなん9条の会の津田公子さんは、日本中に憲法変えるなどの署名が広がって安倍改憲を断念させることができた。岸田内閣の9条改憲、「戦争法」による集団的自衛権の行使で若者を戦場に駆り出す、危険な策動にストップをかけましょう。と訴えました。

無料コロナ検査店に抗原検査キットなし

スギ薬局大浜店に続き、1月17日から無料のコロナ検査が開始されたスギ薬局雨池店。「コロナが急激に広がって不安」と市民が検査に訪れています。

ところが開始早々から抗原検査キットがなくPCR検査だけとなっています。その場で、30~40分後に結果がわかる抗原検査は貴重です。

期限延長を

大村知事は、1月19日の新聞で無料検査店を172から206カ所にしたと報道しています。しかしキットがないなどの状況もある中、1月末までの期間は短かすぎ、延長すべきです。

ヤマナカ前 最後の19行動

次回から 東浦町 ユーストアーにて

6年間、毎月19日に署名げ

1月19日ヤマナカ前で19行動が行われました。コロナ新感染者が26人という中で、署名は断念ハンドマイクによる訴えを行いました。

まちの中心部での閉店

ヤマナカは1月30日で閉店します。文化会館、市役所など公共施設もある碧南市の中心部でのスーパー閉店は買い物客にもショックです。

店員さんはまだ次の職場も見つかっていない人もいるそうです。

行政の力不足も？

ねぎた市政4期目で、ケチケチ行政が続いてきました。1月14日の補正予算では5億円のふるさと寄付金増額で29億円に。しかし地域振興券は5千円で焼け石に水。くるくるバス拡充など買い物客の便利な交通も棚上げ。福祉やくらしの施策は、軒並みカットで地域経済を冷え込ませてきました。ポストン市庁舎ではレッドソックスの優勝パレード

も地域貢献の位置づけを忘れずやっています。まちづくりの失敗では切ないです。



ようこそ、市民のための市役所へ。

映画「ボストン市庁舎」を見てきました

『ニューヨーク公共図書館』に続きフレデリック・ワイズマン監督の4時間半のドキュメンタリー映画「ボストン市庁舎」を刈谷日劇でみてきました。ボストン市庁舎はトランプが体現するものの対極にあります。と監督。人々がともに幸せに暮らしていくために、なぜ行政が必要なのか—今コロナ禍で問われる行政の役割とは何か—警察、消防、保健衛生、出生、結婚、死亡記録、数百種類ものサービスを提供するボストン市役所の姿がただただドキュメンタリーで描かれます。「格差と差別とアメコミ以上のヒーロー。保健所や図書館や職員を減らし非正規職員をコキ使い、カジノで儲けようとする地方自治体とは大違い。日本よ。これが市政だ！《町山智浩映画監督》の声に大賛同。市役所の仕事の舞台裏。多様な人種・文化が共存する大都市ボストンを率いるのは、アイルランド移民のルーツを持つ労働者階級出身のマーティン・ウォルシュ市長（2021年3月23日よりアメリカ合衆国労働長官に就任）。2018～19年当時のアメリカを覆う分断化の中、「ここではアメリカ合衆国の問題を解決できません。しかし、一つの都市が変われば、その衝撃が国を変えてゆくのです。」と語る市長と市職員たちの挑戦を通して「市民のための市役所」の可能性が見えてきます。コロナ禍で激変する日本社会に暮らす私たちにも切実な問題です。私たちが知るくお役所仕事>という言葉からは想像もできない、一つ一つが驚きとユーモアと問題提起に満ちた場面の数々。ボストン市庁舎を通して「人々がともに幸せに暮らしていくために、なぜ行政が必要なのか」アメリカ民主主義の根幹が見えてくるドキュメンタリーです。ボストン市長は困ったことがあったら直通電話に・・・と市民に語り、市職員に「みなさんの専門性を発揮して解決してください」と呼びかける・・・こんな碧南市政にしたいもの・・・心からそう思いました。ネットで予告編だけでも見てください。（山口はるみ 記）



日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

戦争法廃止 改憲許すな19行動

1月19日 (水曜日)
午前11時～12時
ヤマナカ前にて



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

新しい日本をつくる五つの提案

- 新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
- 憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
- 権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
- 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
- ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切にし個人の尊厳を尊重する政治